

# 第1学年 英語科学習指導案

日 時 平成23年10月28日(金) 6校時  
生 徒 1年1組 男子14名女子11名計25名  
指 導 者 阿 部 夏 子 (北松園中学校)  
ラズベリー タマラ (ALT)

## 1 単元名 Unit 7 カナダの学校 (NEW HORIZON ENGLISH COURSE BOOK 1)

## 2 生徒と単元について

### (1) 教材について

本単元の題材は、カナダの中学生とのテレビ会議という場면을扱っている。グリーン先生の授業の中で、カナダに住んでいる弟のビルとの対話を通して、時差や天候の話からカナダの中学校の様子などについて話が進み、Writing Plus 1の学校紹介のホームページ作成へと続いていく。時差については社会科で学習しているが、実際に生活するうえでの時差を感じることができたり、同世代の外国の学校生活について知ることができるなど、生徒にとっては興味深い題材と言える。また、諸外国と日本の学校の様子の違いを知ること、様々な文化や特色をもった人々と同じ世界に生きることを実感できるとともに、その違いをもとに、自分の学校紹介する際、どのような情報を交えて発信すれば理解が深まるかを考えることができる題材である。単なる学校紹介ではなく、世界中の人が見ることができるという視点での発信ということを意識づけていきたい。

小学校の外国語活動において、英語ノート1ではLesson1世界の「こんにちは」を知ろう、Lesson5いろいろな衣装を知ろう、Lesson6外来語を知ろう、英語ノート2のLesson2いろいろな文字があることを知ろう、Lesson6行ってみたい国を紹介しよう等で、諸外国の文化に目を向けた題材を扱っている。本単元では、同じ中学生の学校生活という日常生活に目を向け、諸外国の文化理解を深める教材となっている。小学校でのあいさつの言葉や衣装、その国で有名なものなどへの興味から、同じ中学生が世界の国々でどんな生活をしているのかという更に身近に感じられる題材になっており、諸外国への興味関心を持てる題材の流れとなっている。

文法事項としては、疑問詞 who を用いた疑問文、時刻や天候を尋ねる疑問文とその答え方を学習する。疑問詞を用いた疑問文については、Unit 4「日本大好き」において what を用いた疑問文を、Unit 5「ピクニックに行こう」において how many を用いた疑問文を学習している。これらの使い方を振り返りながら、スムーズな導入を図り、十分な反復練習を行い、定着を図りたい。天候や時刻については日常的に用いる表現であるので、日常的に使用する場面を設定していきたい。

### (2) 生徒について

生徒は、小学校での外国語活動の移行期間にあたり、英語ノート2 Lesson2 までの活動に親しんできてきており、Unit6 で学習する天候や時刻に関する表現には触れてきていない。小学校での活動で慣れていることもあり、英語を聞いたり、話すことには意欲的に取り組んでいる。しかし、全体的におとなしく慎重で、大きな声で話したり、自分の考えを表現するのが苦手な生徒が多い。また、自信のないものについて、なかなか表現をしたがらない。そこで、生徒の不安を解消しながら、間違っても大丈夫だという雰囲気作りをしていく必要がある。

生徒に行った英語学習についての意識調査(アンケート)によると、多数の生徒が4技能の中で「書く」活動に不安を感じている。その理由としては、単語を覚えるのが難しい、ローマ字と違うので混乱するなどの理由を挙げている。文の構成というより、単語を正しく書くという活動に不安を感じていることから、文字と音を合わせるフォニックスの学習を4月初めに行った。新出単語の導入においても、フォニックスを意識させたり、日常的に聞いたり、目にしたりするものを生徒に挙げさせ、文字への抵抗感を減らすよう工夫している。また、今後は文の構成でのつまづきが予想されることから、語順の指導とともに、音声面を生かしながら「書く」活動へスムーズに移せるよう、話す活動も充分に行うようにしていきたい。また、英語の学習または、小学

校の外国語活動でどのような活動が楽しいと感じるかという質問に対しては、ビンゴゲームのような楽しみながら学習できる活動の他に、ペアやグループ活動を挙げる生徒が多かった。間違っただけを教え合えるから、英語をたくさん話せるからなどの理由が挙げられている。

これらの生徒の実態をふまえ、小学校での活動も活用しながら、文字の読み方や文法・語順など基礎・基本をしっかりと身に付けさせていきたい。また、座席の工夫やペア活動・グループ活動により、相手にたずねたり、伝える活動の十分な確保や、学び合いのできる環境を取り入れ、コミュニケーション能力の基礎を養うとともに、生徒の考える力を育成していきたい。

### (3) 指導にあたって

「考える力を育成する」ために、Unit 7「カナダの学校」と Writing Plus 1「学校のホームページ」を通して一つの単元ととらえ、単元のゴールを「北松園中学校を世界にむけて紹介しよう」と設定する。まず、教科書の内容からカナダの中学校の様子を、ALT のタマラ先生からアメリカの様子、そして自作の資料から様々な諸外国の学校生活の様子を理解し、その違いに注目し、外国の方々にも興味を持って見てもらえるホームページするためにはどのような情報を加えればいいのかを考えさせ、「書く活動」に結び付けたい。「伝えたい」ことを表現するための語彙が非常に多いことから、導入の際には、小学校での外国語活動で用いた表現を活用したり、ゲーム等を行い、楽しみながらたくさんの語彙に触れるように工夫する。また、本単元では、初めてまとまった英文を読み、情報を整理する活動を取り入れるので、ペア活動・グループ活動を取り入れ、互いに学び合う環境を大事にしていきたい。

## 3 単元の目標

### 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・北松園中学校について相手に興味深く読んでもらえるような紹介をしようとする。
- ・より適切な表現を用いて正確に相手に尋ねたり、伝えようとする。

### 【表現の能力】

- ・疑問詞 who を用いた疑問文とその応答文、時刻や天候を尋ねる疑問文とその応答文を用いて、尋ねたり、答えたりすることができる。
- ・北松園中学校を紹介する英文を書くことができる。

### 【理解の能力】

- ・まとまった英文を読んで、内容を理解することができる。

### 【言語や文化についての知識・理解】

- ・疑問詞 who を用いた疑問文とその応答文、時刻や天候を尋ねる疑問文とその応答文の形・意味・用法を正しく理解することができる。
- ・諸外国の中学校生活について理解することができる。

## 4 学習指導計画及び評価計画 (Unit 7, Writing Plus 1 . . . 7時間)

## 「北松園中学校を世界にむけて紹介しよう」

時	重点目標	主な言語活動	観点別評価の重点領域												言語活動を通して考える力を育てる活動				
			関・意・態				表 現			理 解		言 語・文 化							
			L	S	R	W	S	R	W	L	R	L	S	R		W			
1	【 Part 1 】 ・グリーン先生の弟の自己紹介の内容を理解する。 ・疑問詞whoを用いた疑問文とその応答文の形・意味・用法を理解し、それをを用いて簡単な対話ができる。	・グリーン先生の弟の自己紹介の内容理解と音読 ・疑問詞whoの疑問文とその応答文を用いて、尋ね合う。																	・インタビュー活動
2	【 Part 2 】 ・時刻や天候を尋ねる疑問文とその応答文の形・意味・用法を理解し、それをを用いて簡単な対話ができる。	・対話の内容理解と音読 ・時刻や天候を尋ねる疑問文とその応答文を用いて、お互いに問答する。																	・インタビュー活動
3	【 Part 3・4 】 ・カナダの中学校の様子を理解し、北松園中学校についての簡単な質問に答えることができる。	カナダの中学校生活についての英文の内容理解と音読 北松園中学校についての質問に英文で答えることができる。																	・北松園中学校についての問答
5	<b>本 時</b> ・諸外国の中学校生活についての英文を読み、日本との違いを理解し、その情報を伝え合うことができる。	・諸外国の中学校生活についての英文を読む。 ・それぞれに理解した内容を伝えあうことができる。																	・英文読解 ・インタビュー
6 ・ 7	・ホームページの作成 (コンピュータでの作成)	・北松園中学校についての伝えたい情報を、諸外国との違いに留意しながら書くことができる。																	・ホームページの作成

※評価は4技能全てについて行っていくものであるが、網掛けの部分は授業を通して、重点的に評価を実施する観点である。

## 5 本時の学習

(1) ねらい 「世界の国々の中学校生活について知る」

(2) 指導目標

- ①諸外国の中学校生活についての英文を読み、日本との違いを知ることができる。
- ②日本との違いをもとに、ホームページに載せたい情報を整理することができる。

(3) 本時の評価規準

- ・まとまった英文を読み、その内容を理解しようとする。 【読む—関心・意欲・態度】
- ・まとまった英文を読み、その内容を理解することができる。 【読む—理解】
- ・諸外国の中学校生活について質問をしたり、答えたりすることができる。【話す—表現】

(4) 「考える力」の育成のための手立て

【考える力の育成に関わる身につけたい力】

- ・情報を読み取り、その情報をもとに伝えたい内容を考える力

【考える力を育成するための言語活動】

- ・諸外国の中学校生活についての情報を読み、それについての質問したり、応答したりする活動（小グループでの活動でお互いに伝え合ったり、学び合う活動）
- ・諸外国と日本の中学校生活の違いを理解し、相手に興味を持って読んでもらえる学校紹介を作成するためにはどんな情報を取り入れたらよいかを考える活動

(5) 本時の展開

	学習内容・学習活動	時間	指導上の留意点
導 入	1 Warm-up ・ Bingo Game  2 前時の復習 ・ 学校生活を知るための質問を確認する。  3 課題提示 ・ ALT のタマラ先生の体験談から、課題提示につなげる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>教科やクラブ名，行事，国の名前など学校説明に役に立つ語彙を取り上げ，次の活動につなげる。</li> <li>Interaction を行いながら，質問の仕方を確認させる。</li> <li>日本の学校とアメリカの学校との違いで驚いたことを聞き，カナダや日本以外の国々にも目を向けさせる。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           世界の国々の中学校生活を知ろう！         </div>	12	
展 開	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;">           4 言語活動①（グループ活動）            ・ 諸外国の中学校生活についての英文を読み取る。             5 言語活動②（ペア活動→グループ活動）            ・ 他のグループが読み取った情報について尋ね合う。             6 言語活動③（グループ活動）            ・ インタビューで知り得た情報をグループで共有する。             7 言語活動④（個人）            ・ 知り得た情報の中で，日本との違いに驚いたポイントを英語で整理する。         </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ポイントを絞り，情報を整理しながら読み取らせる。</li> <li>相手の理解した情報を，尋ねるとともに，自分たちが知り得た情報をペアで協力しながら，わかりやすく伝えさる。</li> <li>声量やアイコンタクトなど，相手とのコミュニケーション活動であることを意識させる。</li> <li>日本語での交流でよい。</li> <li>1 文程度でよい。</li> </ul>
	8 交流 ・ 驚いたポイントを発表する。  9 北中紹介ホームページの内容を検討する。	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの意見をもとに，北中紹介で是非紹介したいことに結び付けさせる。</li> <li>違いを理解し，興味をもって読んでもらえる紹介文を意識させる。</li> </ul>
終末	10 次時の予告	3	

## 6 板書計画

インタビューの  
進め方

中学校生活について尋ねる  
のに便利な表現

Friday, October 28th

1  
2  
3  
4  
.  
.  
.  
Bingo Gameの  
Winner